

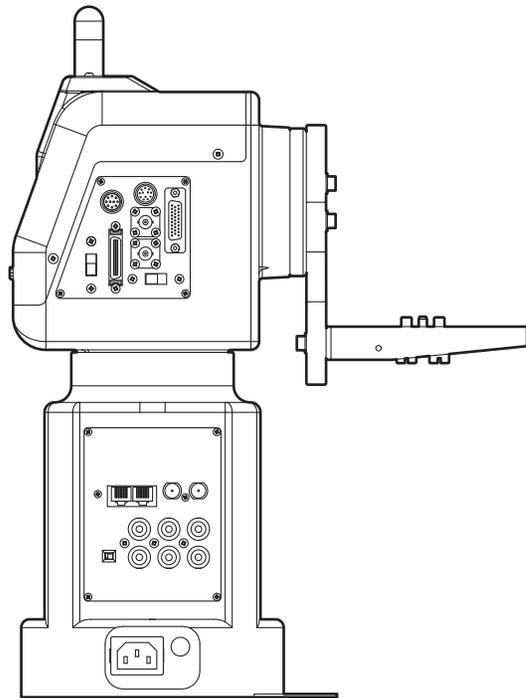
Panasonic®

取扱説明書

屋内回転台

品番 **AW-PH405N**

工事説明付き



- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

もくじ

安全上のご注意	3
概要.....	6
付属品.....	7
使用上のお願い	7
設置上のご注意	8
各部の名称とはたらき	9
取り付けかた	13
■回転台の組み立て	13
■セーフモードについて	15
■CPU基板のスイッチ設定変更手順.....	16
■CPU基板のスイッチ設定	17
■回転台の取付条件.....	18
■お客様でご用意いただくもの.....	18
■回転台の設置.....	19
■カメラの取り付け 〔コンバーチブルカメラ（AW-E350/E650/E655/E750/E860/HE870）の場合〕	23
■ワイヤーの付けかた 〔コンバーチブルカメラ（AW-E350/E650/E655/E750/E860/HE870）の場合〕	24
■カメラの取り付け〔マルチパーパスカメラ（AK-HC1500G/AK-HC1800G）の場合〕	25
■ワイヤーの付けかた〔マルチパーパスカメラ（AK-HC1500G/AK-HC1800G）の場合〕	26
■搭載バランスについて	27
接続のしかた	29
ケーブル仕様	31
消耗品の交換	32
外形寸法図	33
定格.....	34
保証とアフターサービス.....	35

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店へ依頼してください。

電源コードや接続コードに重いものを載せない



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない



禁止

本機内部にはいると、故障や事故を起こす原因になります。

機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない



禁止

火災や感電の原因になります。

落下防止対策を施す



落下によるけがの原因となります。

- 落下防止用ワイヤーを必ず取り付けてください。

総質量に耐える場所に取り付ける



取り付け場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

指定のカバー以外は外さない



分解禁止

感電の原因になります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

機器が濡れたり、水が入らないようにする



火災や感電の原因になります。
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

水場で使用しない



火災や感電の原因になります。

水場使用禁止

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く



電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

本機を改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

電源プラグのほこりなどは、定期的にとる



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない



ぬれ手禁止

感電の原因になる恐れがあります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で定格を越えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込む



火災や感電の原因になります。
傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

⚠ 注意

<p>電源コードを熱器具に近づけない</p>  <p>コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない</p>  <p>火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機の上に重い物を置かない</p>  <p>バランスがくずれて落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない</p>  <p>コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。 	<p>本機の通風孔をふさがない</p>  <p>内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●風通しの悪い所に押し込まないでください。 ●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。 	<p>本機に乗らない</p>  <p>倒れたり壊れたりして、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す</p>  <p>コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p>	<p>お手入れの際は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く</p>  <p>火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を</p>  <p>本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。</p>

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*

法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

*経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

概要

- 上下300°、水平300°の回転ができる、据え付け型の屋内回転台です。
- 最速45°/sの高速動作が可能です。
- 最大搭載質量は、15 kgです。
(プロンプター等を使用して最大搭載質量が5 kg以上になる場合には、搭載物に合わせて落下防止対策を施してください。)
- 最大50ポジションの撮影する位置と設定を、プリセットメモリーとして登録できます。

● プロトコルコンバーター (AW-IF400) を使用して、回転台コントローラー (AW-RP400) を本機に接続する場合

- トレーシングメモリー機能は使用できません。
- TILT RANGEは切り換えできません。
- MEMORY LENGTHは設定できません。
- DIAGONAL MOTION (対角線動作) は切り換えできません。
- バックラッシュは補正できません。
- オートフォーカスおよびエクステンダーのON、OFFをAW-RP400から切り換える場合は、OPTION SWに「EXT」機能を割り当ててご使用ください。

● キヤノン (株) 製 IAS、WAS、VASレンズ、フジノン (株) 製RDレンズを使用する場合

- 本機AW-PH405を起動すると、回転台コントローラー (AW-RP655等) との通信が始まります。また、カメラの電源が入ると、レンズの起動処理が始まります。起動処理中、ズームは自動的に動作し、回転台コントローラー (AW-RP655等) からの各制御ができません。
- 起動処理完了後は、レンズのズームスピード調整ボリュームを調整しないでください。調整したい場合は、AW-PH405の電源を切ってから行ってください。
- レンズのズームオフセット自動補正切換スイッチをONにした場合、ズーム位置が自動補正されるため、レンズのズームシーソースイッチを使用してズームを任意に制御することができません。
- 搭載するレンズを替える場合は、プリセットメモリー/トレーシングメモリーを設定し直してください。そのままプリセットメモリー/トレーシングメモリーを使用すると、ズームが適切に動作しません。

- ご注意**
- 本機AW-PH405は、コントローラー (AW-RP301、AW-RP305、AW-RP501、AW-RP505) からはコントロールできません。
 - ロールユニット (AW-RL400) は使用できません。
 - LENS I/F (2) 端子の定格電流は最大500 mAです。
最大消費電流が500 mAを超えるレンズは使用できません。レンズの最大消費電流については、レンズメーカーにお問い合わせください。
 - 本機のご使用を終え廃棄されるときは、環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。
 - 搭載するレンズにより、フォーカス等が逆方向に動作する場合があります。
正方向で使いたい場合は、回転台コントローラー (AW-RP655等) のDIRECTION設定を変更してください。
 - オートフォーカスレンズを使用しない場合は、AW-PH405のオートフォーカス(AF) /エクステンダー(EXT)切換スイッチ (SW1 : No. 1) はOFFでご使用ください。
切換スイッチをONにして、回転台コントローラー (AW-RP655等) のEXT(AF)ボタンをONにすると、フォーカスの制御ができなくなります。

付属品

取扱説明書	1	ワイヤー取付ねじ	
回転アーム	1	(平ワッシャー/スプリングワッシャー付)	
カメラ取付ベース	1	M4 × 8 mm	1
回転アームおよびカメラ取付ベースの取付ねじ		六角レンチ	1
(平ワッシャー/スプリングワッシャー付)		ACケーブル	1
M5 × 22 mm	7	落下防止用ワイヤー	1
カメラケーブル	1		
タリーランプ	1		
タリー取付ねじ (M3 × 6 mm)	2		
タリー用ブランクパネル	1		

使用上のお願い

●取り扱いには注意を

落としたり、強い衝撃を与えますと故障や事故の原因になります。

●ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

●この機器は、主電源コンセントの近くに設置し、簡単にプラグの抜き差しができる状態にしてください。

●屋外では使用しないでください。

●以下のような場所での設置および使用はできません。

- ・ 雪の落下が予想されるような場所 (軒下なども含む)
- ・ プールなど、薬剤を使用する場所
- ・ 工場や厨房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所
- ・ 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- ・ 車輻や船舶など振動の多い場所 (本機は車載用ではありません)
- ・ 体育館などのスポーツ施設で使用する場合などで、ボールなどが直接ぶつかる場所

●お手入れは

乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いてください。

<お願い>

- ・ ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- ・ 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

設置上のご注意 (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

お客様でご用意いただくもの

本機には、落下防止用ワイヤーを付属しています。

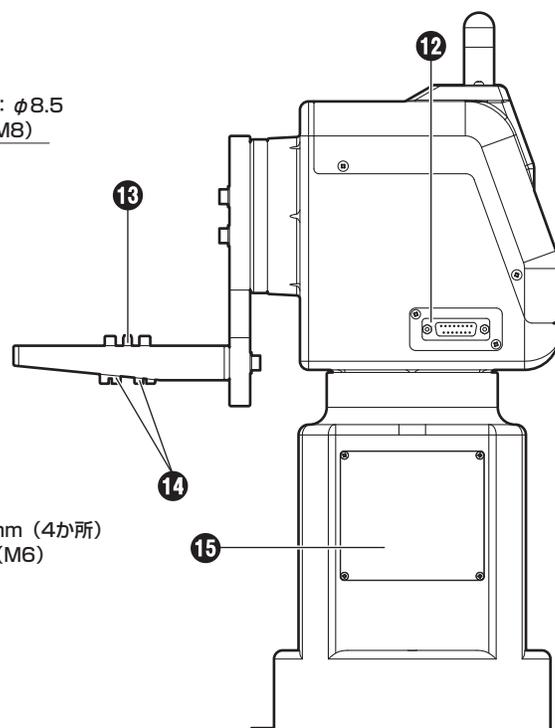
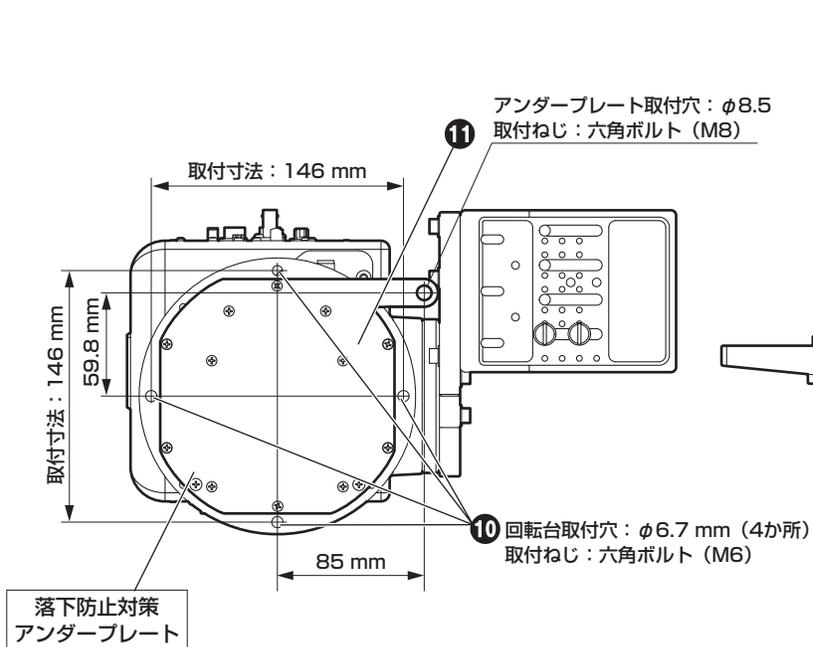
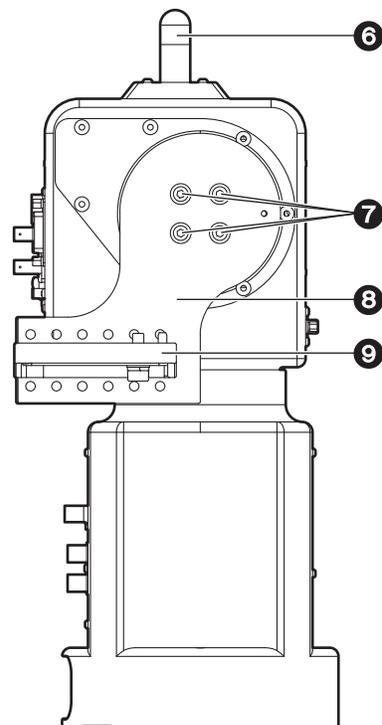
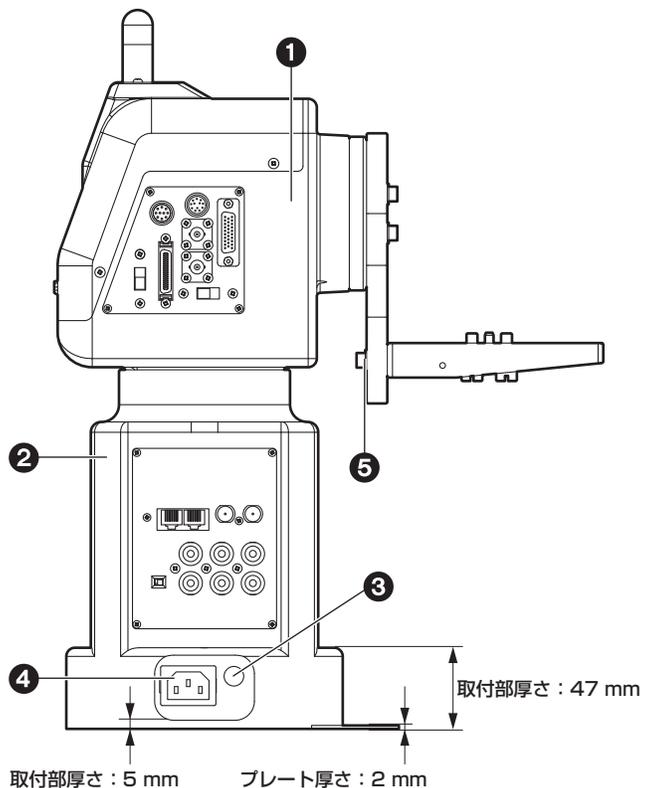
回転台の取り付けとアンダープレートの取り付けのために、下記のものをご用意ください。

- 埋め込みアンカー：5か所
(M6用：4か所、M8用：1か所)
- 六角ボルトまたはナット (M6：回転台用)：各4個
(長いボルト × 3、短いボルト × 1)
- 六角ボルトまたはナット (M8：アンダープレート用)：各1個
- 平ワッシャー (M6)：4個
- 平ワッシャー (M8)：1個
- スプリングワッシャー (M6)：4個
- スプリングワッシャー (M8)：1個

詳しくは、18ページを参照してください。

- 必ずアンカーまたは吊り金具を使用して設置してください。
- 回転台の取り付けは、1か所あたり780 N (80 kgf) 以上の引き抜き強度が必要になります。
アンカーまたは吊り金具は、この引き抜き強度の5倍以上を確保できるように施工してください。
- 設置の際は、回転台本体の取り付け (4か所) と落下防止対策アンダープレートの取り付け (1か所) を必ず行ってください。
- 横向きでの設置はおやめください。
- 回転台の設置が完了してから、カメラを回転台に取り付けてください。
- プロンプター等を含めて搭載する場合の最大搭載質量は15 kgです。その際には販売店にご相談いただき、必ず搭載物に合わせた落下防止対策をしてください。
(この場合は、付属の落下防止用ワイヤーは使用しないでください。)
- カメラとレンズを搭載する場合には、最大搭載質量を5 kg以下にさせていただき、必ず付属の落下防止用ワイヤーを取り付けて落下防止対策をしてください。
- バランスが悪くなるレンズは、使用しないでください。
最大搭載質量が15 kg以下でもバランスが悪い場合、使用できません。
- 屋外や45℃以上の暑いところや、-5℃以下の寒いところには設置しないでください。
また、湿度90%以下のところでお使いください。
- 回転台を設置するねじやアンダープレートを取り付けるねじは付属されていませんので、別途ご購入ください。
- 回転部分を持って、持ち上げないでください。
故障の原因になります。
- 本機のRP端子、COM端子と一般のLAN回線、または電話回線を接続しないでください。故障の原因になります。
- 回転部分を手で回さないでください。
故障の原因になります。
- 落としたり、強い衝撃を与えますと故障の原因になります。
- モニター周囲より1 m以上離して設置してください。
- カメラを回転台に取り付けるときは、脱落や落下に十分注意してください。
- 本機には、落下防止用ワイヤー (カメラ用) を付属しています。
説明内容をお読みのうえ、必ずワイヤーを取り付けて、落下防止対策をしてください。
- 回転台が旋回したときに、回転台に取り付けた機器やケーブルが周辺のものに接触しないように設置し、可動範囲 (リミッター) の設定をしてください。
(リミッターの設定は、コントローラーの取扱説明書を参照してください。)
- 使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。
- 電源プラグを2ピンに変換して使用される場合は、販売店にご相談のうえ、アース線付きのプラグアダプターを使用し、必ず接地接続を行ってください。
- 接地接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください
- カメラケーブルは、電灯線などに近づけて配線しないでください。
ノイズの入る原因になります。

各部の名称とはたらき



各部の名称とはたらき

① 回転ヘッド

水平方向に回転します。

② 台座

③ POWER ON/OFFスイッチ

スイッチを押し込んだ状態で回転台の電源が入り、スイッチが飛び出した状態で回転台の電源が切れます。

④ ACインレット [AC IN] (AC 3Pインレット)

付属のAC電源ケーブルを接続します。

⑤ カメラ取付ベース取付ねじ

六角穴付ねじM5 × 22 mm (平ワッシャー/スプリングワッシャー付) (付属品 各3個)
カメラ取付ベースを回転アームに固定します。
(13ページ参照)

⑥ タリーランプ (付属品)

選択信号により赤色に点灯します。

⑦ 回転アーム取付ねじ

六角穴付ねじM5 × 22 mm (平ワッシャー/スプリングワッシャー付) (付属品 各4個)
回転アームを回転ヘッドに固定します。
(13ページ参照)

⑧ 回転アーム

上下方向に回転します。

⑨ カメラ取付ベース

コンバーチブルカメラ、またはマルチパーパスカメラを取り付けます。

⑩ 回転台取付穴

回転台を設置するための取付穴です。
(六角ボルト用、4か所)

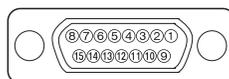
⑪ アンダープレート

回転台本体の落下防止のため、アンダープレートの穴 (φ8.5、1か所) を使い回転台の4か所とは別に固定します。

⑫ PROMPTER端子

プロンプターを接続する端子です。
DC 12 V OUTから供給できるのは、最大2.5 Aです。
プロンプターを接続すると、回転台のスピードが約1/3になります。
接続する場合は、必ずDETECT端子 (ピンNo.14) とGND端子 (ピンNo.15) をショートしてください。

ご注意 ● プロンプター搭載の際は、取付金具および全体のバランス等を確認する必要がありますので、販売店にご相談ください。



プロンプター端子を正面から見たときのピン配置

ピンNo.	信号名
1	---
9	---
2	PROMPTER VIDEO
10	PROMPTER VIDEO GND
3	---
11	---
4	DC 12 V OUT
12	---
5	GND
13	---
6	---
14	DETECT
7	---
15	GND
8	---

⑬ ガイドピン

カメラの取付方向を決めるピンです。

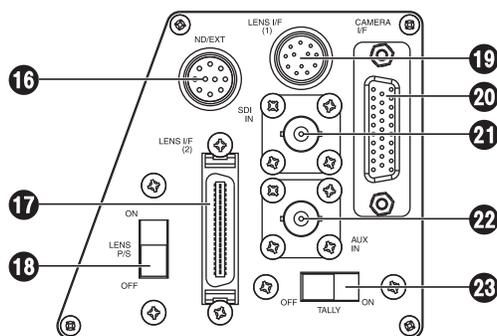
⑭ カメラ取付ねじ (U1/4-20UNC)

カメラを取り付け、確実に固定してください。

⑮ 側面ブランクパネル

通常は、そのままの状態でご使用ください。

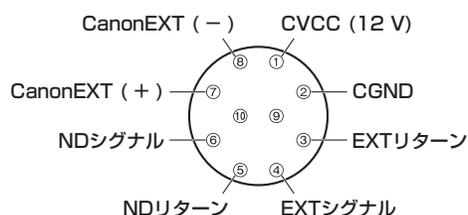
各部の名称とはたらき



回転ヘッドコネクターパネル

16 ND/EXT端子 [ND/EXT]

電動レンズユニットのNDフィルターやレンズエクステンダー制御用端子です。NDフィルターやレンズエクステンダー機能を持つ電動レンズユニットを使用する場合に接続します。接続には、「ケーブル仕様」(31ページ参照)に記載したケーブルが必要です。



(ケーブル側より見た図)

CVCC、CGNDピンの定格電流は最大500 mAです。最大消費電流が500 mAを超える機器は使用できません。

17 LENS I/F (2) 端子 [LENS I/F (2)]

キヤノン (株) 製IAS、WAS、VASレンズ、またはフジノン (株) 製RDレンズを使用する場合に使用します。接続には、別売の接続ケーブルが必要です。LENS I/F (2) 端子の定格電流は最大500 mAです。最大消費電流が500 mAを超えるレンズは使用できません。レンズの最大消費電流については、レンズメーカーにお問い合わせください。

レンズ	ケーブル
キヤノン デジタル アナログ	AW-CA4DLZG AW-CA4ALZG
フジノン	AW-CA4FLZG

ご注意 ● 接続ケーブルの取扱説明書をご参照のうえ、正しく接続してください。

18 LENS P/S ON/OFFスイッチ [LENS P/S]

ONにすると、LENS I/F (1) 端子からレンズへの電源供給を行います。OFFにすると、LENS I/F (1) 端子からレンズへの電源供給を行いません。AW-PH405専用のカメラケーブルを使用しないで回転台の外部からカメラへ電源供給する場合は、スイッチをOFFにしてください。

19 LENS I/F (1) 端子 [LENS I/F (1)]

電動レンズユニットのズーム/フォーカス制御用端子です。電動レンズユニットのリモート (ズーム/フォーカス) コントロールケーブルを接続します。

20 CAMERA I/F端子 [CAMERA I/F]

コンバーチブルカメラの制御用端子です。AW-PH405に付属のカメラケーブルでカメラのREMOTE端子と接続します。オプションカードの機能によっては専用のカメラケーブル (別売) が必要です。

21 SDI IN端子 [SDI IN]

コンバーチブルカメラに装着したSDIカード (AW-PB504等) のSDI OUT端子と同軸ケーブルで接続します。

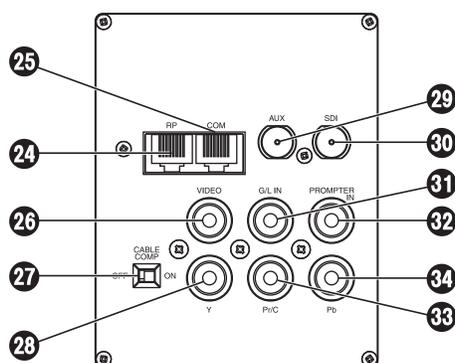
22 AUX IN端子 [AUX IN]

コンバーチブルカメラに装着したSDIカード (AW-PB504等) のSDI OUT端子、またはマルチパスカメラ (AK-HC1500G/AK-HC1800G) に装着したダウンコンバータボード (AK-HDC1500G等) のVBS端子とBNC同軸ケーブルで接続します。

23 TALLY OFF/ONスイッチ [TALLY]

ONにすると、選択信号によりタリールンプが点灯します。OFFにすると選択信号が入力されてもタリールンプ (6) は点灯しません。

各部の名称とはたらき



台座コネクタパネル

24 CONTROL IN RP端子 [RP]

カメラ／回転台の制御信号端子です。
マルチファンクションコントローラー (AW-RP655)、
マルチハイブリッドコントロールパネル(AW-RP555)
のTO PAN/TILT HEAD端子と接続します。
接続ケーブルは、10BASE-Tストレートケーブル (UTP
カテゴリー 5) をご用意ください。

25 COM端子 [COM]

カメラの拡張用制御信号端子です。

26 VIDEO端子 [VIDEO]

コンバーチブルカメラの映像信号出力端子です。
ケーブル補償器 (AW-RC400) のY/VIDEO端子や、
モニター等に接続します。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

27 CABLE COMP OFF/ONスイッチ [CABLE COMP]

ONにすると、500 m相当のケーブル補償された信号
がVIDEO端子、Y/Pr/Pb端子から出力されます。
ケーブル補償器 (AW-RC400) と合わせて、
1000 mまで映像ケーブルを延長できます。

28 Y端子 [Y]

カメラの映像信号出力端子です。
ケーブル補償器 (AW-RC400) のY/VIDEO端子や、
モニター等に接続します。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

29 AUX端子 [AUX]

カメラの映像信号出力端子です。
AUX INに接続したBNC同軸ケーブルからのSDI信号、
またはVBS信号等を出力することができます。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。
出力される信号は、ケーブル補償されません。

30 SDI端子 [SDI]

カメラの映像信号出力端子です。
SDI INに接続したBNC同軸ケーブルからのSDI信号、
またはVBS信号等を出力することができます。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。
出力される信号は、ケーブル補償されません。

31 G/L IN端子 [G/L IN]

ゲンロック信号入力端子です。
ケーブル補償器 (AW-RC400等) のG/L OUT端子に
接続します。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

32 PROMPTER IN端子 [PROMPTER IN]

プロンプター用の映像信号を入力する端子です。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

33 Pr/C端子 [Pr/C]

カメラの映像信号出力端子です。
ケーブル補償器 (AW-RC400) のPr/C端子や、モニ
ター等に接続します。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

34 Pb端子 [Pb]

カメラの映像信号出力端子です。
ケーブル補償器 (AW-RC400) のPb端子や、モニ
ター等に接続します。
接続ケーブルは、BNC同軸ケーブルをご用意ください。

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■回転台の組み立て

組み立ての際には、付属の六角レンチやドライバーを使って、規定のトルクで締め付けてください。
取り付け後、取り付けガタがないことを確認してください。

① カメラ取付ベースの取り付け

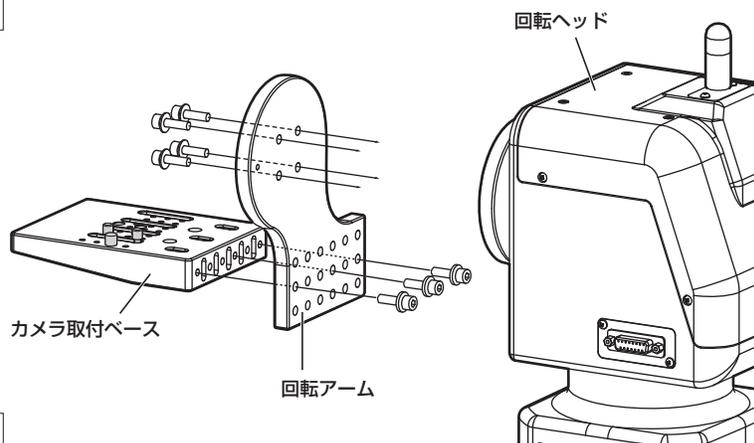
カメラ取付ベースを、付属の取付ねじ3本 (M5 × 22 mm : 平ワッシャー/スプリングワッシャー付) で回転アームへ取り付けてください。設置方法によって取付方向が異なります。

ベースとアームの 取り付け	締め付けトルク
取付ねじ (M5)	3.0 N・m (30 kgf・cm)
ガイドピン (M4)	1.5 N・m (15 kgf・cm)

② 回転アームの取り付け

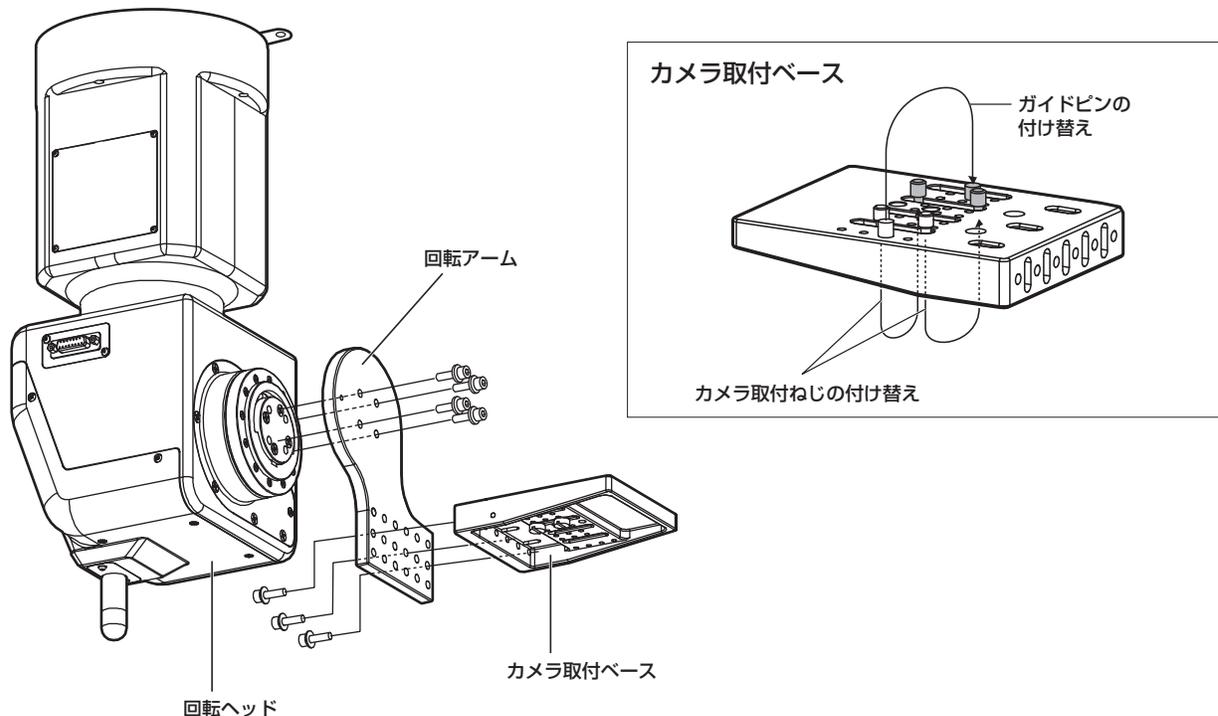
回転アームを、付属の取付ねじ4本 (M5 × 22 mm : 平ワッシャー/スプリングワッシャー付) で回転ヘッドへ取り付けてください。設置方法によって取付方向が異なります。

据え置き設置の場合



吊り下げ設置の場合

- カメラ取付ベースは、ガイドピンとねじの位置を右図のように付け替えてから、回転アームに取り付けてください。
- ガイドピンは、マイナスドライバーで締め付けてください。



取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

③ タリーランプの取り付け

回転台の上部にテープ止めしてあるタリーケーブルコネクタをタリーランプのコネクタと接続します。
タリーランプを回転台上部へ付属のねじ2本で取り付けます。

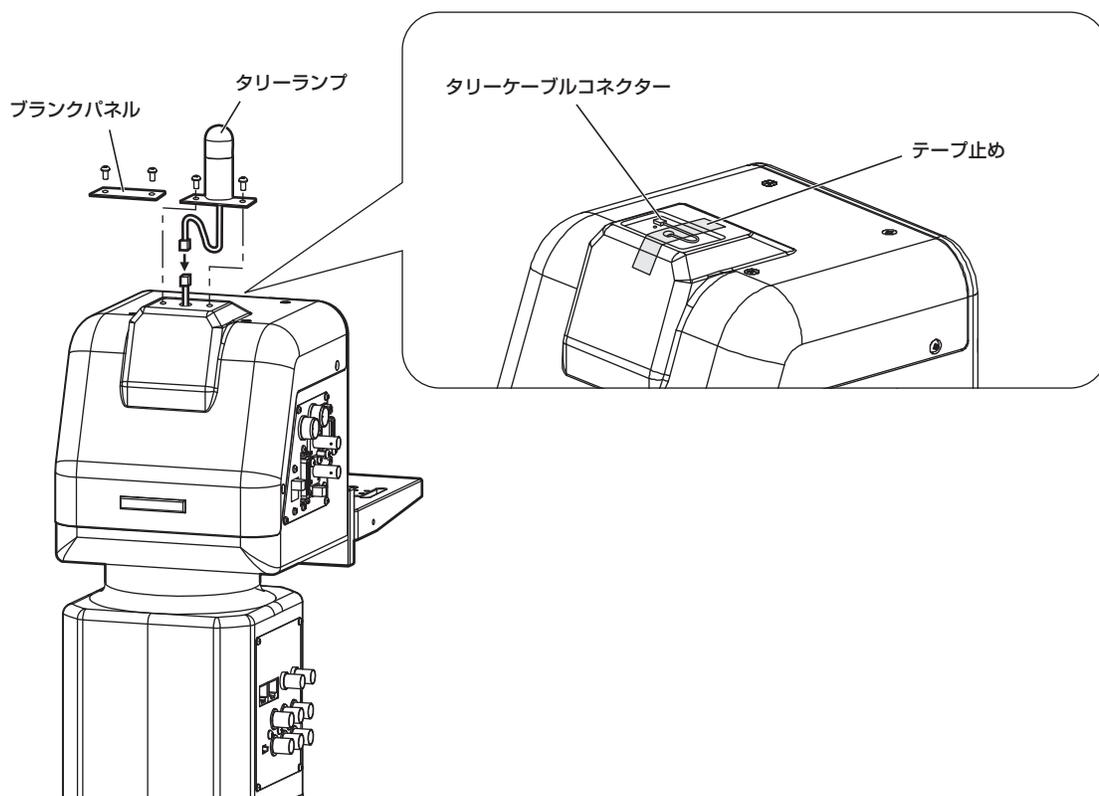
ご注意 ● 使用時に緩みが発生しないように、ドライバーを使って、ねじを下記のトルクで締め付けてください。

タリーランプの取り付け	締め付けトルク
取付ねじ (M3)	0.8 N・m (8 kgf・cm)

このとき、配線に注意して取り付けてください。

タリーケーブルコネクタのケーブルの長さは、約50 mmです。
コネクタ接続の際は、この長さ以上にケーブルを引き出さないでください。

タリーランプを使用しない場合は、回転台上部に貼り付けてあるケーブルを回転台内部に挿入し、
タリー用blankパネルを付属のねじ2本で取り付けます。



取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■セーフモードについて

本機は、使用する人や他の人への危害、回転台の損傷を防止するため、2種類のセーフモードを備えています。

1. 衝突時のセーフモード

回転台の回転アーム、または搭載物が障害物や人に衝突し続けた場合（45°/s 回転時で約6秒）、

衝突時のセーフモードになります。

衝突時のセーフモードは、衝突した方向の回転動作のみ停止します。

※低速で衝突した場合、セーフモード突入までの時間はより長くなります。

<セーフモードからの復帰方法>

回転台コントローラー（AW-RP655等）のジョイスティックをセンター位置に戻すと、衝突時のセーフモードが解除されます。

※カメラおよびレンズを取り付けて、バランスが悪い場合、衝突時のセーフモードになることがあります。

状況により、バランス補正が必要となりますので、販売店にご相談ください。

2. 異常時のセーフモード

回転台が異常を検知した場合、異常時のセーフモードになります。

異常時のセーフモードは、上下および左右の回転動作が停止します。

<セーフモードからの復帰方法>

POWER ON/OFFスイッチを押して電源を切った後、再度POWER ON/OFFスイッチを押して電源を入れると、異常時のセーフモードが解除されます。

※頻繁に異常時のセーフモードが発生する場合、回転台が故障している恐れがあります。

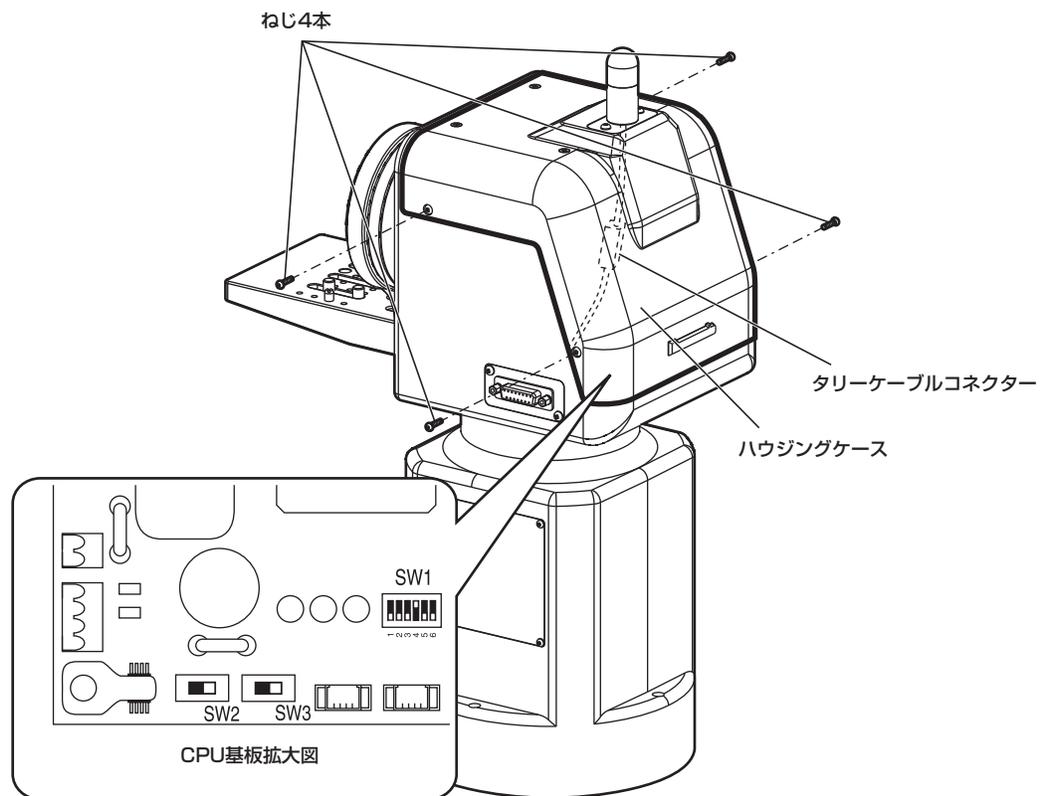
販売店にご相談ください。

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■CPU基板のスイッチ設定変更手順

CPU基板のスイッチ設定を変更する場合は、下記の手順で行ってください。

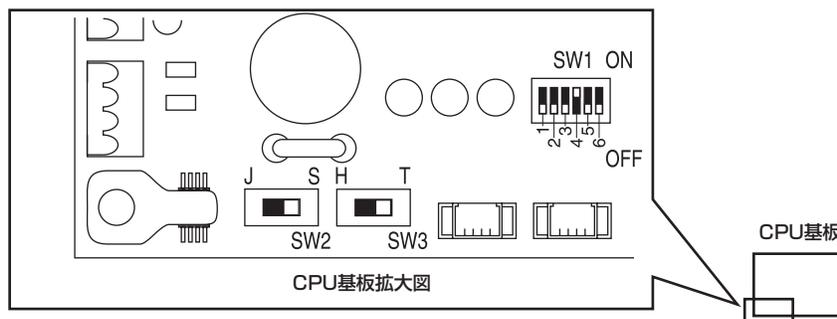
- ① ねじを4本外し、ハウジングケースをゆっくり取り外してください。
- ② タリーケーブルコネクタを外してください。
- ③ CPU基板のスイッチ設定を行ってください。
設定終了後は、タリーケーブルコネクタを接続してから、ハウジングケースを元に戻し、ねじで取り付けてください
(配線に注意してください)。



ご注意 • スイッチの設定を行うときは、電源を必ずOFFにしてください。

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■CPU基板のスイッチ設定



① SW1の設定

AW-PH405の動作設定を行うスイッチです。設定を変更するときは、必ず電源を切った状態で行ってください。

- No.1 : オートフォーカス(AF) / エクステンダー (EXT) 切換スイッチです。
オートフォーカスレンズをレンズIF (1) 端子に接続して使用する場合はON、電動エクステンダー付きのレンズをND/EXTコネクタに接続して使用する場合はOFFで使用してください。
- No.2 : 対角線動作切換スイッチです。ONで「対角線動作あり」、OFFで「対角線動作なし」となります。
AW-RP655等からのMENU設定変更 (DIAGONAL MOTION) は、対角線動作切換スイッチがONのときのみ有効となります。
- No.3 : チルト範囲切換スイッチです。ONで300°、OFFで190°となります。
パーソナルコンピュータ等の外部機器からの設定変更は、チルト範囲切換スイッチがONのときのみ有効となります。
- No.4 : LENS I/F (2) 端子に接続するレンズのズームオフセット自動補正切換スイッチです。通常はONで使用してください。
レンズのズームシーソースイッチを使用してズームを手動で動かす場合は、OFFで使用してください。
レンズのズームオフセット自動補正切換スイッチをONにした場合、ズーム位置が自動補正されるため、レンズのズームシーソースイッチを使用してズームを任意に制御することができません。
- No.5 ~ 6 : 使用しません。出荷時の設定を変更しないでください。

No.	機能	ON	OFF
No.1	オートフォーカス(AF) / エクステンダー (EXT) 切換	AF	EXT (出荷時設定)
No.2	対角線動作 ON/OFF 切換	対角線動作あり (出荷時設定)	対角線動作なし
No.3	チルト範囲 300°/190° 切換	300° (出荷時設定)	190°
No.4	ズームオフセット自動補正 ON/OFF 切換	自動補正あり (出荷時設定)	自動補正なし
No.5	未使用 (サービスマン用)	—	(出荷時設定)
No.6	未使用 (サービスマン用)	—	(出荷時設定)

● ズームオフセット自動補正機能について

回転台がズーム停止で用いる制御電圧値を検出しないレンズの場合、回転台側との電位差が発生し、回転台コントローラー (AW-RP655等) からズーム制御を行わない場合でも、ズーム位置が移動してしまうことがあります。この現象を回避するために、本機能は回転台がズーム停止で用いる制御電圧値の補正を自動的に行います。

② ランディング特性の設定

ランディング特性を変更する場合、次のようにスイッチを設定します。

ソフトランディング : SW2を右側 (S) にセットします (出荷時設定)。

ジャストランディング : SW2を左側 (J) にセットします。

③ 設置方向スイッチの設定

吊り下げ設置を行う場合、次のようにスイッチを設定します。

据え置き : SW3を右側 (T) にセットします (出荷時設定)。

吊り下げ : SW3を左側 (H) にセットします。

ご注意 ● スwitchの設定を行うときは、電源を必ずOFFにしてください。

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■回転台の取付条件

回転台質量	取付仕様	適合カメラ	カメラ質量	カメラ落下対応	適合レンズ	レンズ質量	ケーブル質量	全体質量
約10 kg	据え置き および 吊り下げ	コンバーチブル カメラシリーズ AW-E350 AW-E650 AW-E655 AW-E750 AW-E860 AW-HE870	最大 約1.2 kg	付属ワイヤー 取り付け	AW-LZ16MD55P AW-LZ16MD73P AW-LZ17MD9AG	最大約1.3 kg	約0.3 kg	約13 kg
		マルチパーパス カメラシリーズ AK-HC1500G AK-HC1800G	約1.5 kg		HA21シリーズ HA22シリーズ HJ17eシリーズ HJ21eシリーズ	最大約3.2 kg		約15 kg

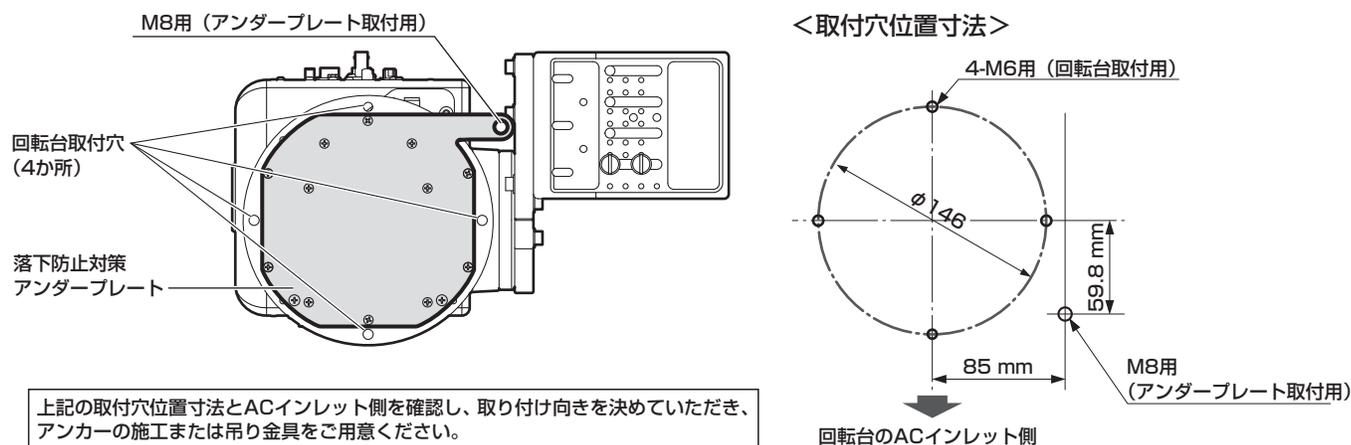
回転台の取り付け	
推奨ねじ	ねじ数
六角ボルト (M6)	4本

プレートの取り付け	
推奨ねじ	ねじ数
六角ボルト (M8)	1本

(注) プロンプター等を取り付けた場合は、上記よりも質量が増えますのでご注意ください。

■お客様でご用意いただくもの

回転台を設置するときは、「回転台の取付条件」を確認して、次の説明内容を守ってください。
本機の底面には、回転台取付穴とは別に、落下防止対策アンダープレート用の穴が設けてあります。



回転台の取り付けおよびアンダープレート取り付けのため、下記のものをご用意ください。

- ① 埋め込みアンカー M6タイプ：4か所 (回転台用)
M8タイプ：1か所 (アンダープレート用)
 - アンカー設置の位置寸法につきましては、9ページの図面を参照してください。
- ② 六角ボルトまたはナット M6：各4個、M8：各1個
 - 回転台部の厚さ 47 mm (厚い部分)：3か所
 - 回転台部の厚さ 5 mm (薄い部分)：1か所
 - アンダープレート厚さ 2 mm：1か所
 - ボルトの場合は、上記の寸法を考慮して、回転台用とアンダープレート用それぞれのボルトの長さを決めてください。
- ③ 平ワッシャー、スプリングワッシャー M6：各4個、M8：各1個

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■回転台の設置

回転台を設置するときは、「回転台の取付条件」を確認して、次の説明内容を守ってください。

製品の脱落、落下による事故を未然に防ぐため、本機とは別に落下防止対策アンダープレートを取り付けて、必ず落下防止対策をしてください。

所定の動作、性能が確保できませんので、横向きでの設置はおやめください。

- 設置面は、使用するアンカー 1本あたり指定引き抜き強度の5倍以上の強度が必要です。
- アンカーまたは吊り金具を施工してから、回転台の取り付け・落下防止対策をしてください。
- 回転台の設置が完了してから、カメラを回転台に取り付けてください。
- アンカーの埋め込み深さは、各アンカーメーカーの推奨値にしてください。
- 回転台取付穴（4か所）には、M6のボルトまたはナットを使用して取り付けを行ってください。
- アンダープレート用穴（1か所）には、M8のボルトまたはナットを使用して取り付けを行ってください。
- オスねじ型アンカーに取り付ける場合は、回転台とアンダープレートを取り付けたナットからアンカーボルトが7 mm 以上出ていることを確認してください。（図1）
- メスねじ型アンカーに取り付ける場合は、ボルト径の2倍以上の深さでボルトがメス型アンカーに入ることを確認してください。（図2）
- 六角ボルトおよびナットには、必ず平ワッシャー、スプリングワッシャーを使用してください。

推奨締め付けトルク：

ボルト	締め付けトルク
六角ボルト (M6)	5.0 N・m (50 kgf・cm)
六角ボルト (M8)	12.0 N・m (120 kgf・cm)

締め付けには、トルク指定できるトルクレンチを使用してください。

- 設置面として石膏ボードや木部は、強度が弱いので、取り付けないでください。
- 回転台が回転したときに、回転台に取り付けた機器やケーブルが周辺の物に接触しないように設置してください。
- 使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。
- ねじやボルトは指定されたトルクで締め付けを行ってください。過度なトルクで締めると、ねじ山が破損し落下の原因になります。また、弱いトルクで締めるとねじの緩みの原因になります。
- 締め付けの際にトルクを指定するため、トルクドライバーやトルクレンチを使用してください。
- トルクドライバーやトルクレンチはトルク指定を行える範囲に制限があります。指定された推奨トルク値を参考にして、適切なトルクドライバーやトルクレンチを使用してください。
- トルク管理が難しいインパクトドライバーや電動ドライバーの使用は、ねじやボルトの破損の原因になりますので、使用しないでください。

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

設置場所が主要構造部 (コンクリート120 mm以上) の場合

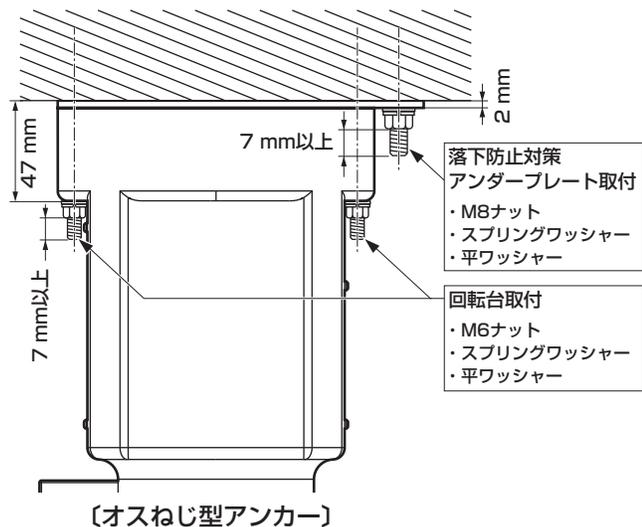


図1

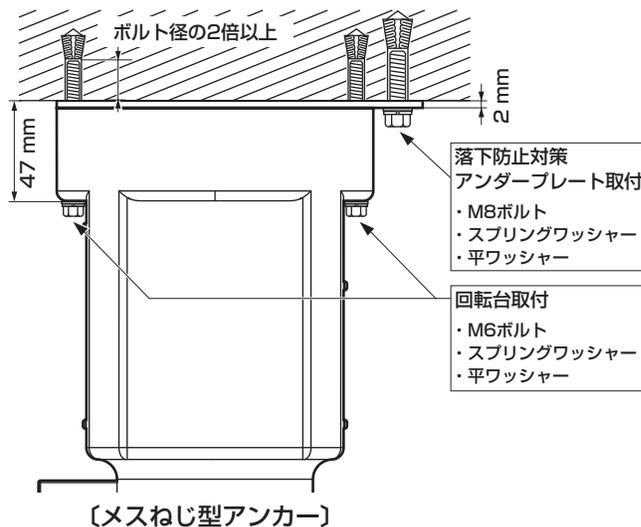
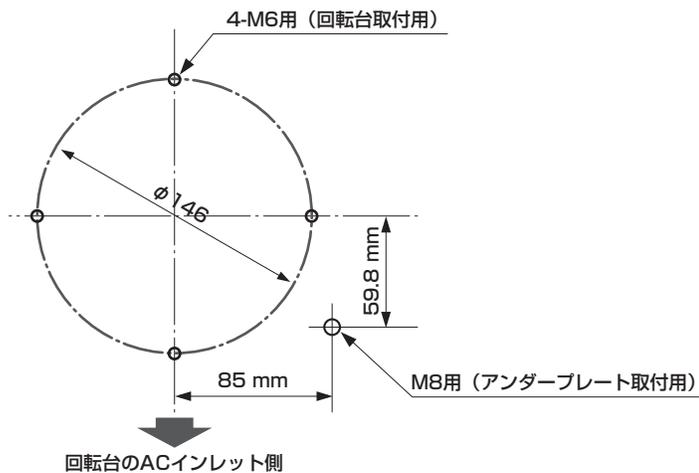


図2

<取付穴位置寸法>



上記の取付穴位置寸法とACインレット側を確認し、取り付け向きを決めていただき、アンカーを施工してください。

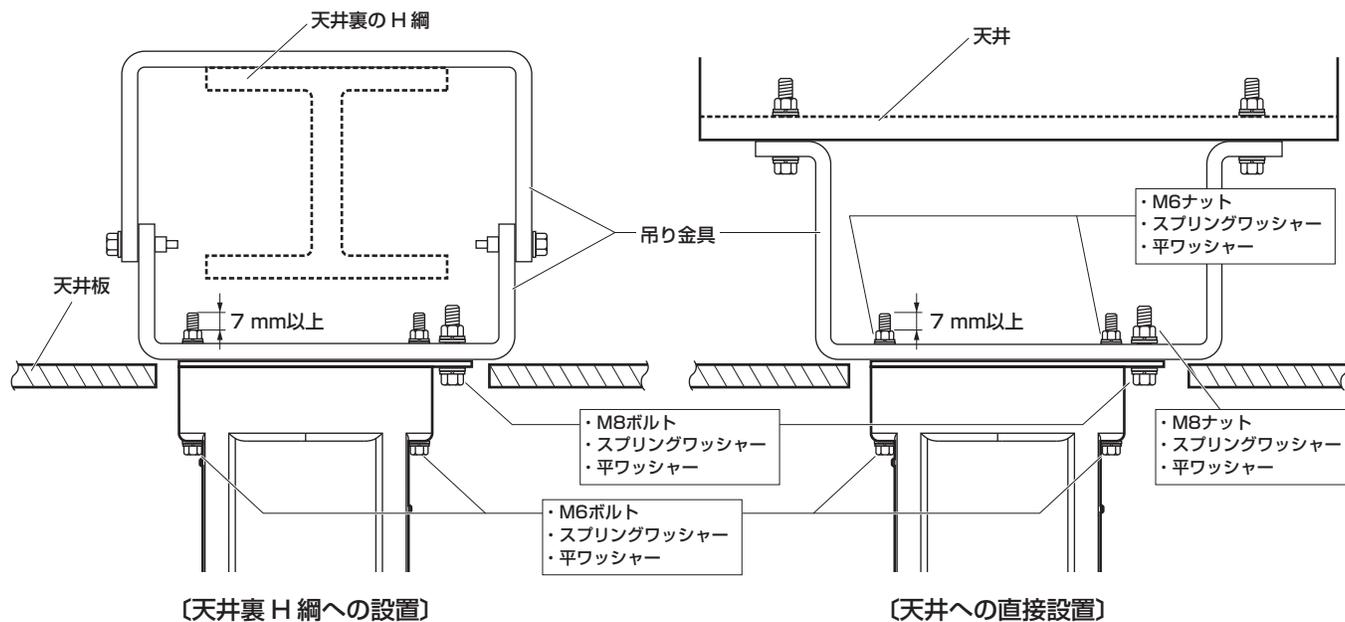
ご注意

- 回転台の取付部の厚さ (3か所：47 mm、1か所：5 mm) および落下防止対策アンダープレートの厚さ (2 mm) を含めて、アンカー用のオスねじの長さとおメスねじの深さを決めてください。

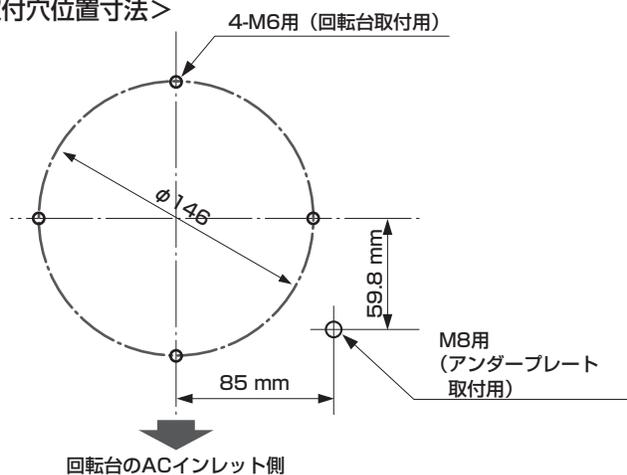
取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

設置場所が主要構造物 (石膏ボード等) の場合

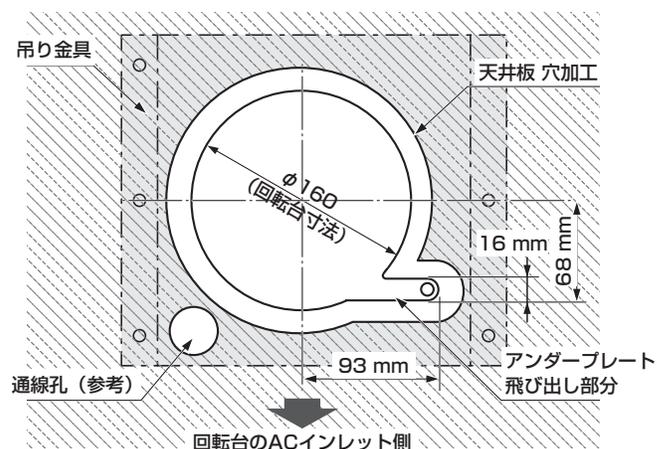
※強度を確保できない構造物への設置は、避けてください。



<取付穴位置寸法>



<天井板：抜穴寸法>



上記の取付穴位置寸法、天井板抜穴寸法およびACインレット側を確認し、取り付け向きを決めていただき、吊り金具への穴加工、天井板抜穴加工をしてください。

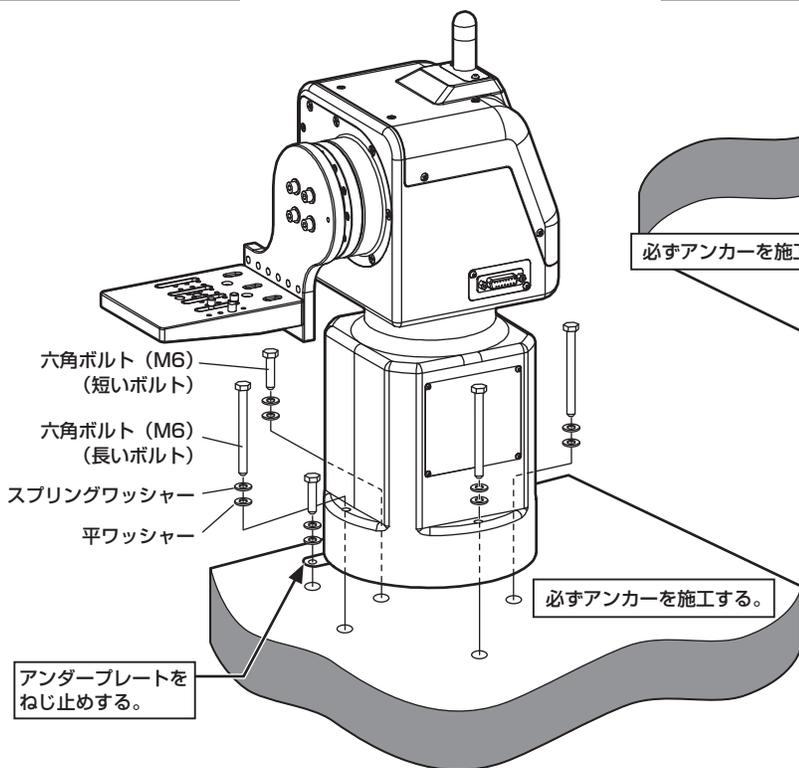
ご注意

- 天井裏のH網等と連結させる吊り金具を準備して、そこに回転台を取り付けてください。
- 必ず、ボルト・ナット・平ワッシャー・スプリングワッシャーを使って取り付けてください。

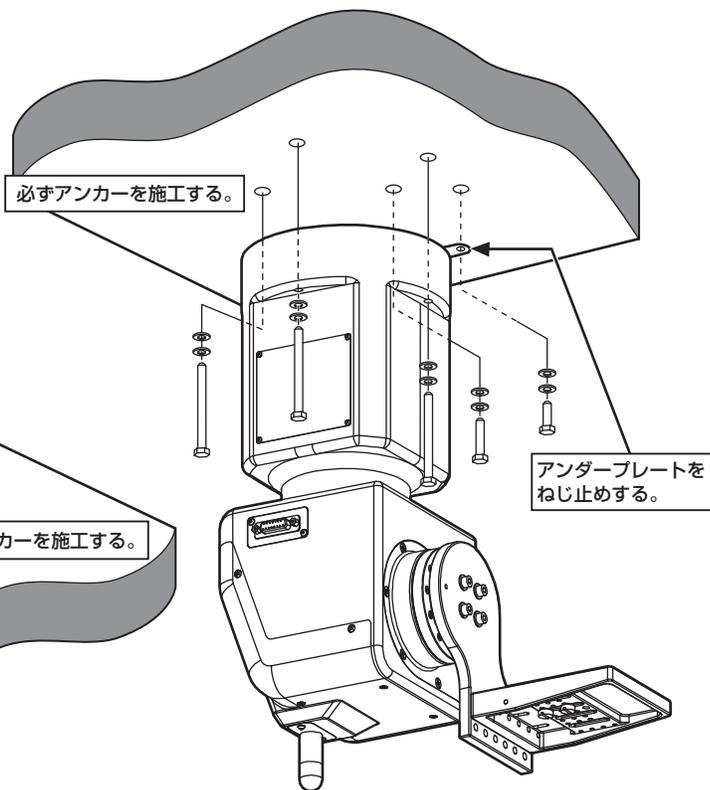
取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

<メスねじ型アンカーの場合>

据え置き設置の場合



吊り下げ設置の場合



ご注意

- 六角ボルトは、トルク指定のできるトルクレンチを使って、右表のトルクで締め付けてください。締め付けた後は、がたつきがないことを確認してください。

- 設置するときには、“回転ヘッド” や “回転アーム” を強制的に手で回さないでください。故障の原因となります。

回転台の取り付け	締め付けトルク
六角ボルト (M6)	5.0 N・m (50 kgf・cm)
六角ボルト (M8)	12.0 N・m (120 kgf・cm)

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■カメラの取り付け

(コンバーチブルカメラ (AW-E350/E650/E655/E750/E860/HE870) の場合)

カメラを取り付けるときは、カメラの脱落や落下に十分注意してください。

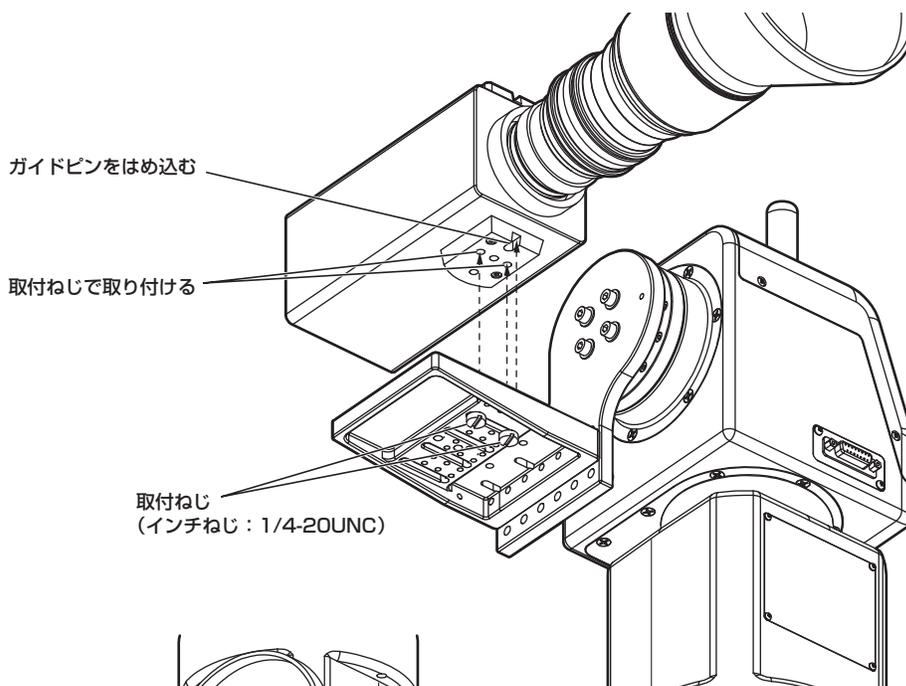
- ① コンバーチブルカメラにレンズを取り付けます。
(大型のレンズを取り付ける場合は、あらかじめ販売店にご相談ください。)
- ② ガイドピンに合わせてコンバーチブルカメラを取り付けます。

- ご注意**
- カメラを仮固定したあと、必ずマイナスドライバーを使って、カメラ取付ねじ2本を確実に締めてください。
 - カメラを取り付けた後、取り付けガタがないことを確認してください。

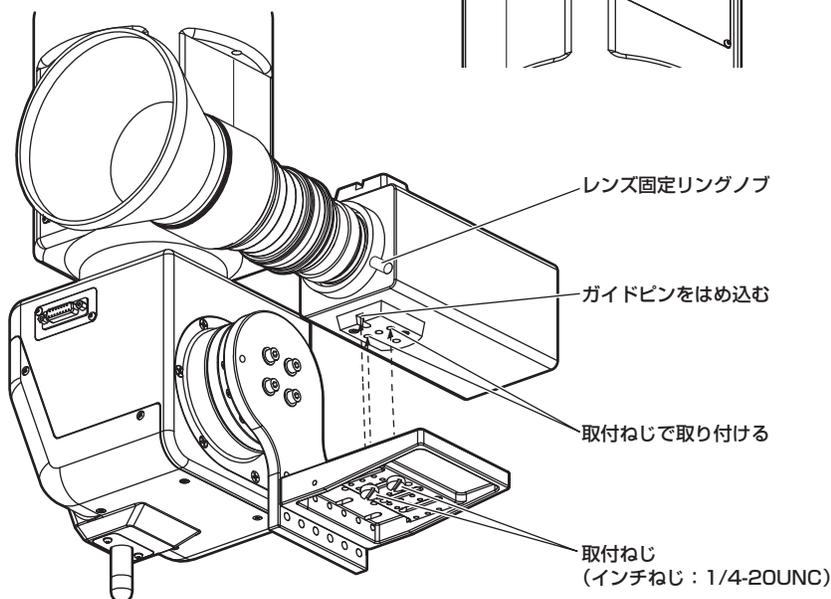
カメラの取り付け	締め付けトルク
取付ねじ (インチねじ)	2.0 N・m (20 kgf・cm)

- レンズは、レンズ固定リングノブで確実に締め付けて、がたつきのないことを確認してください。
フードについても、がたつきのないことを確認してください。

据え置き設置の場合



吊り下げ設置の場合



<推奨レンズ>

カメラ	レンズ
AW-E350	AW-LZ16MD55P
AW-E650	AW-LZ16MD73P
AW-E655	
AW-E750	AW-LZ17MD9AG
AW-E860	
AW-HE870	

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

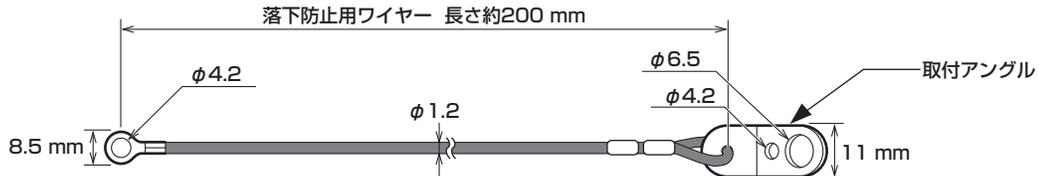
■ワイヤーの付けかた

(コンバーチブルカメラ (AW-E350/E650/E655/E750/E860/HE870) の場合)

本機には、落下防止用ワイヤーを付属しています。

下記の要領でカメラと回転台をワイヤーで連結してください。

ご注意 ●ワイヤーは、必ずプラスドライバーを使って、取付ねじ2本で確実に締めてください。



●取付ねじの締め付けについては、右表のトルクで締め付け、がたつきのないことを確認してください。

ワイヤーの取り付け	孔径	締め付けトルク
取付ねじ (インチねじ)	φ6.5	2.0 N・m (20 kgf・cm)
取付ねじ (M4)	φ4.2	1.5 N・m (15 kgf・cm)

ファン付きのカメラを取り付けるとき

(AW-E655、AW-E750、AW-E860、AW-HE870)

- ① 回転台のアームに、ワイヤー取付ねじ (M4 × 8 mm : 平ワッシャー / スプリングワッシャー付) でワイヤーの片側を取り付けます。
- ② カメラ取付用ねじ穴に、ワイヤー取付ねじ (インチねじ : 1/4-20UNC)、平ワッシャー、スプリングワッシャーでワイヤーの片側 (取付アングルのφ6.5の穴を使用) を取り付けます。

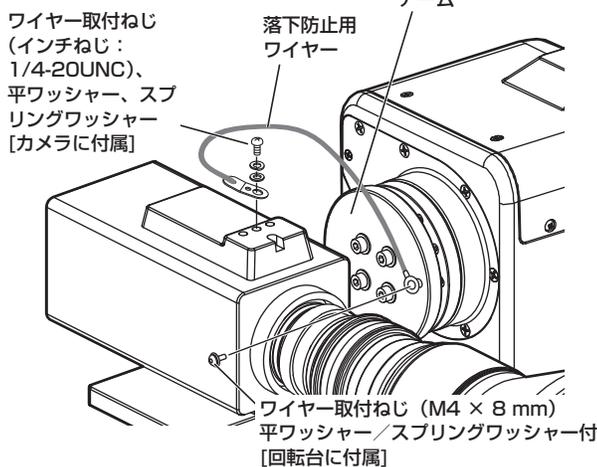
ファンなしのカメラを取り付けるとき

(AW-E350、AW-E650)

- ① 回転台のアームに、ワイヤー取付ねじ (M4 × 8 mm : 平ワッシャー / スプリングワッシャー付) でワイヤーの片側を取り付けます。
- ② カメラの天面のねじ穴に、ワイヤー取付ねじ (M4 × 8 mm : 平ワッシャー / スプリングワッシャー付) でワイヤーの片側 (取付アングルのφ4.2の穴を使用) を取り付けます。

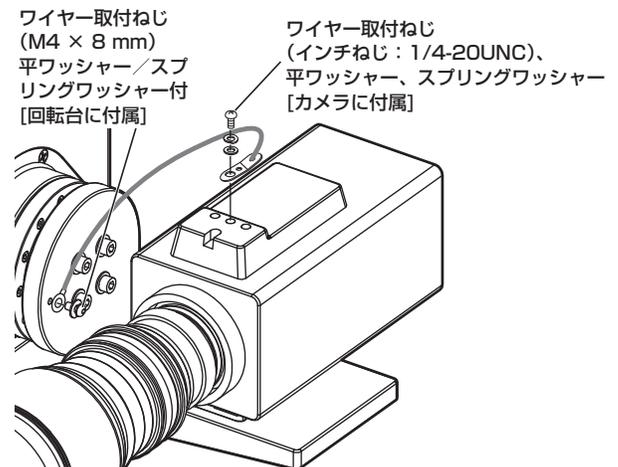
据え置き設置の場合

●カメラ : AW-E750他

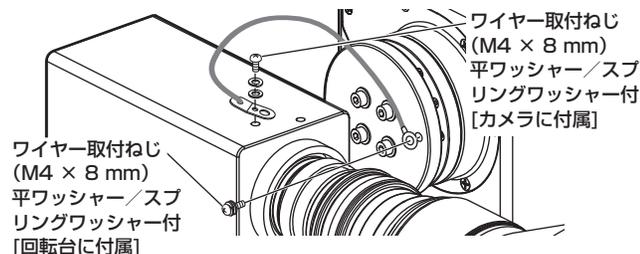


吊り下げ設置の場合

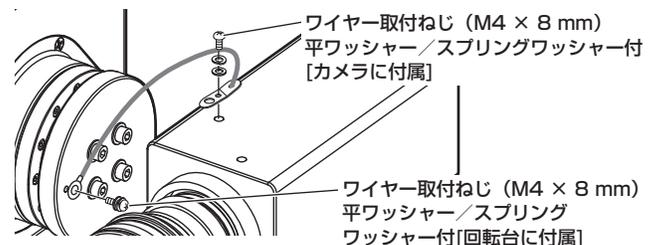
●カメラ : AW-E750他



●カメラ : AW-E350、AW-E650



●カメラ : AW-E350、AW-E650



取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■カメラの取り付け

〔マルチパーパスカメラ (AK-HC1500G/AK-HC1800G) の場合〕

カメラを取り付けるときは、カメラの脱落や落下に十分注意してください。

① マルチパーパスカメラにレンズを取り付けます。

(1) 使用できるレンズ

- 下記のポータブルレンズを使用してください。

フジノン	HA18、HA21、HA22シリーズ
キヤノン	HJ17e、HJ21eシリーズ

(2) 使用できないレンズ

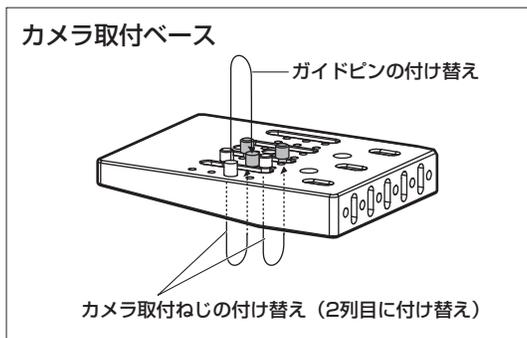
- 下記の品番の大型レンズ (質量 : 5 kg以上、長さ : 400 mm以上) は、本機とのバランスが確保できませんので、使用しないでください。

フジノン	HA42シリーズ
キヤノン	HJ40シリーズ、J35シリーズ

② ガイドピンに合わせてマルチパーパスカメラを取り付けます。

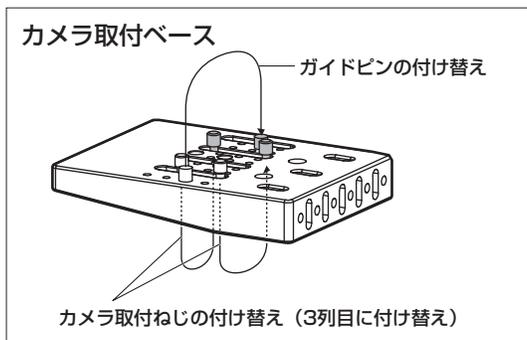
カメラ取付ベースのガイドピンとねじの位置を下図のように付け替えてから、回転アームに取り付けてください。

据え置き設置の場合



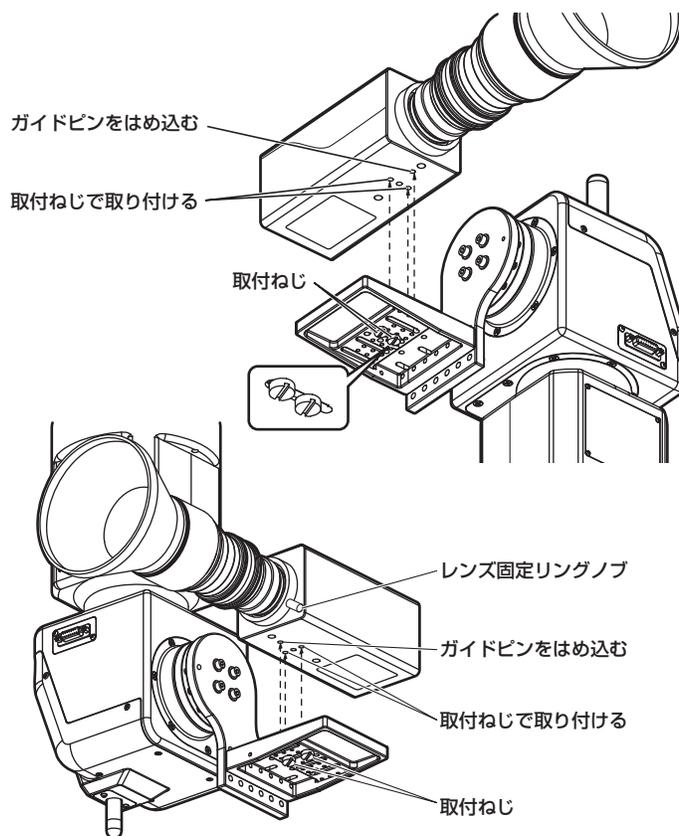
- 取付ねじ2本は、マイナスドライバーを使って確実に締め付けてください。

吊り下げ設置の場合



- コンバーチブルカメラの場合と同様に、カメラ取付ベースのガイドピンとねじの位置を上図のように付け替えてから、回転アームに取り付けてください。

- ご注意**
- レンズは、レンズ固定リングノブで確実に締め付けて、がたつきのないことを確認してください。フードについても、がたつきのないことを確認してください。
 - LENS I/F (2) 端子の定格電流は、最大500 mAです。使用できるレンズのシリーズでも、最大消費電流が500 mAを超えるレンズは使用できません。レンズの最大消費電流については、レンズメーカーにお問い合わせください。



ガイドピンとカメラの取り付け	締め付けトルク
ガイドピン (M4)	1.5 N・m (15 kgf・cm)
取付ねじ (インチねじ)	2.0 N・m (20 kgf・cm)

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

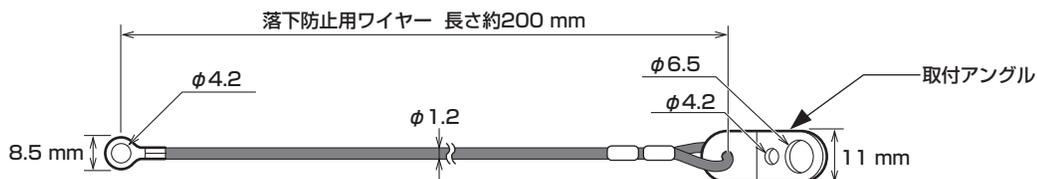
■ワイヤーの付けかた

〔マルチパスカメラ (AK-HC1500G/AK-HC1800G) の場合〕

本機には、落下防止用ワイヤーを付属しています。

下記の要領でカメラと回転台をワイヤーで連結してください。

ご注意 ●ワイヤーは、必ずプラスドライバーを使って、取付ねじ2本で確実に締めてください。



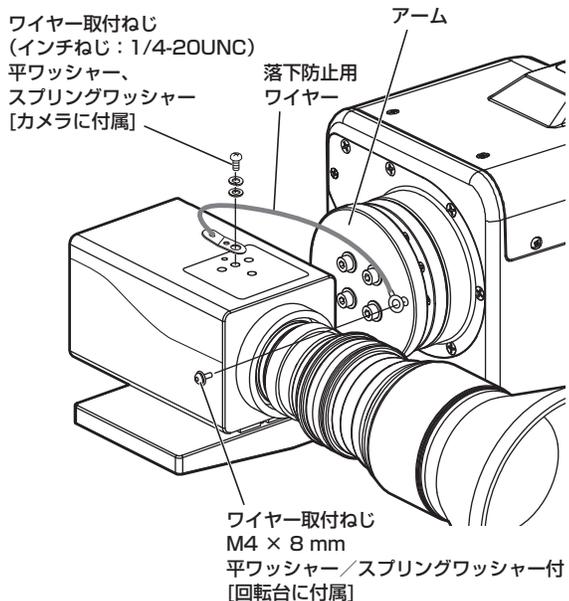
●取付ねじの締め付けについては、右表のトルクで締め付け、がたつきのないことを確認してください。

ワイヤーの取り付け	孔径	締め付けトルク
取付ねじ (インチねじ)	φ6.5	2.0 N・m (20 kgf・cm)
取付ねじ (M4)	φ4.2	1.5 N・m (15 kgf・cm)

- ① 回転台のアームに、ワイヤー取付ねじ (M4 × 8 mm : 平ワッシャー/スプリングワッシャー付) でワイヤーの片側を取り付けます。
- ② カメラの天面に、ワイヤー取付ねじ (インチねじ : 1/4-20UNC)、平ワッシャー、スプリングワッシャーでワイヤーの片側 (取付アングルのφ6.5の穴を使用) を取り付けます。

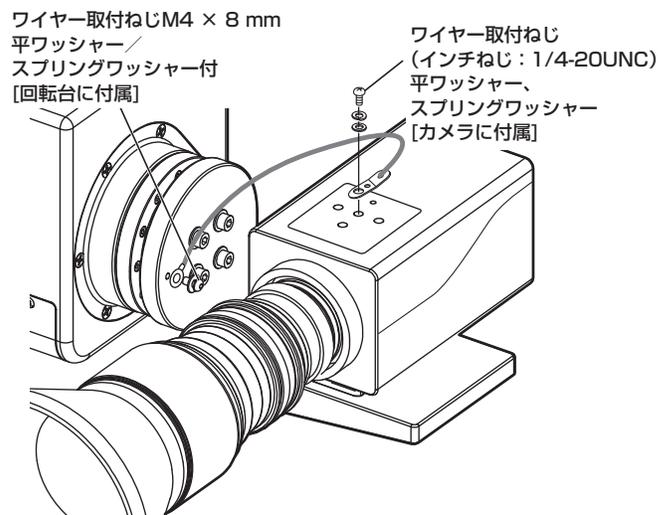
据え置き設置の場合

- カメラ : AK-HC1500G/AK-HC1800G



吊り下げ設置の場合

- カメラ : AK-HC1500G/AK-HC1800G



取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

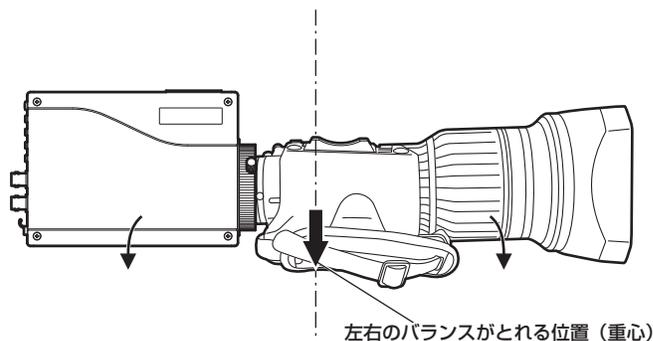
■搭載バランスについて

カメラと長いレンズの組み合わせのときに、バランスが悪くなる場合があります。

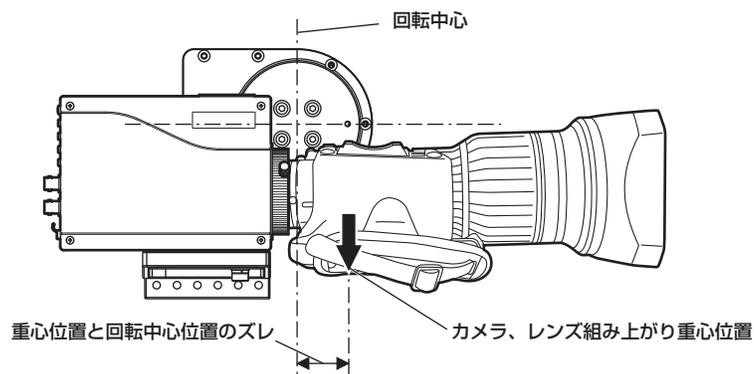
下記の①～③でバランスの確認をして、カメラを取り付けてください。それでも、バランスが悪く動作がスムーズでない場合には、バランス補正が必要となりますので、販売店にご相談ください。

バランスのとりかた

① カメラとレンズの組み上がり状態での重心位置をご確認ください。

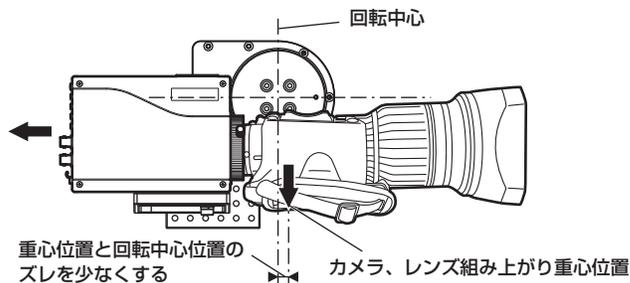
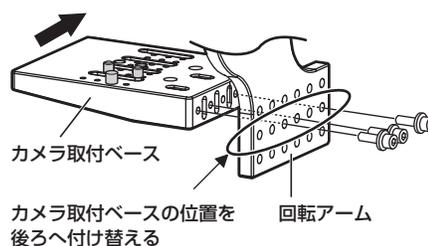


② 重心位置と回転中心位置とのズレが少ないほどバランスがとれます。取り付けの際にご確認ください。



③ ①、②でバランスが取れない場合には、カメラ取付ベースと回転アームを付け替えて、カメラ全体の位置をずらして重心位置と回転中心位置を近づけてください。この場合、下記の点にご注意ください。

- (1) レンズの仕様および設置の向きにより、レンズの突起部やグリップ部が回転アーム等に当たる場合は、付け替えないでください。
- (2) カメラからのコネクターの飛び出しが、回転台の取付面に当たる場合には、次ページのようなスペーサー等を取付面との間に入れるか、リミッター設定をしてください。
- (3) カメラ取付ベースと回転アームは、必ず3本のねじで確実に固定してがたつきのないことを確認してください。

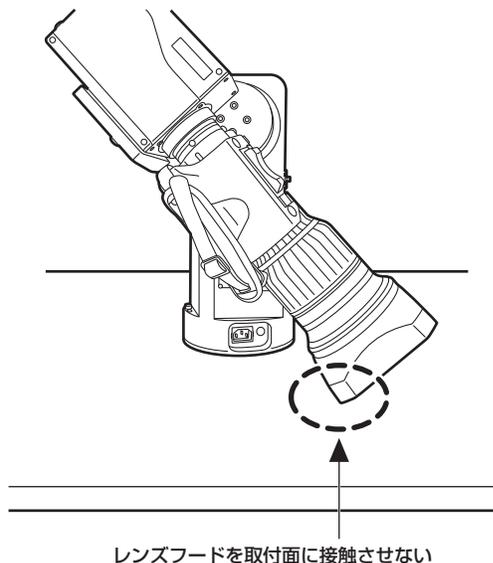


アームの取り付け	締め付けトルク
取付ねじ (M5)	3.0 N・m (30 kgf・cm)

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

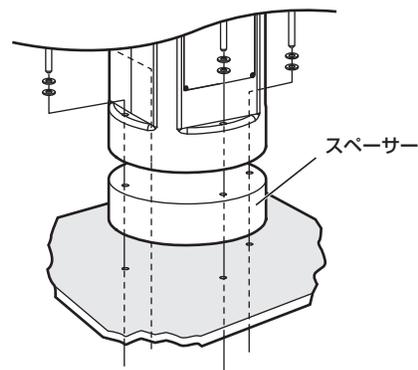
カメラ取り付け上のご注意

- ① レンズの長さを考慮して、チルト動作時にレンズ先端のフードが回転台取付面に接触しないように、リミッターで動作範囲を設定してください。

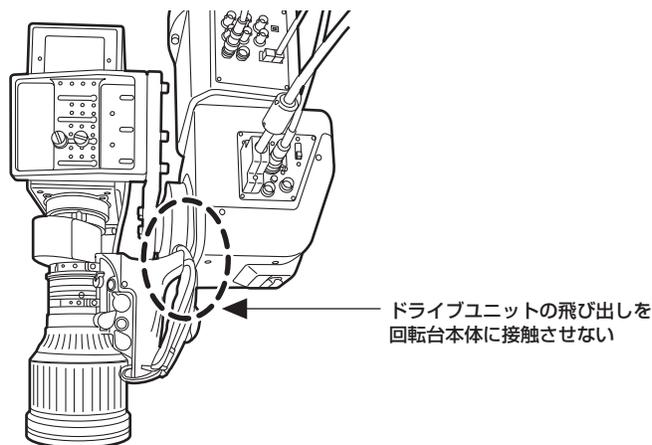


ご注意

- 据え置き状態で、さらに真下にレンズを向けたい場合には、回転台と取付面との間にスペーサー等を入れ、回転台の位置を上げてください。スペーサーは、十分強度のある構造にしてください。また、取付ボルトは長さに十分余裕のあるものをご使用ください。



- ② 吊り下げ設置の場合、チルト動作時にドライブユニットの飛び出しが回転台本体に接触することがありますので、設置の前にリミッターを設定してからお使いください。



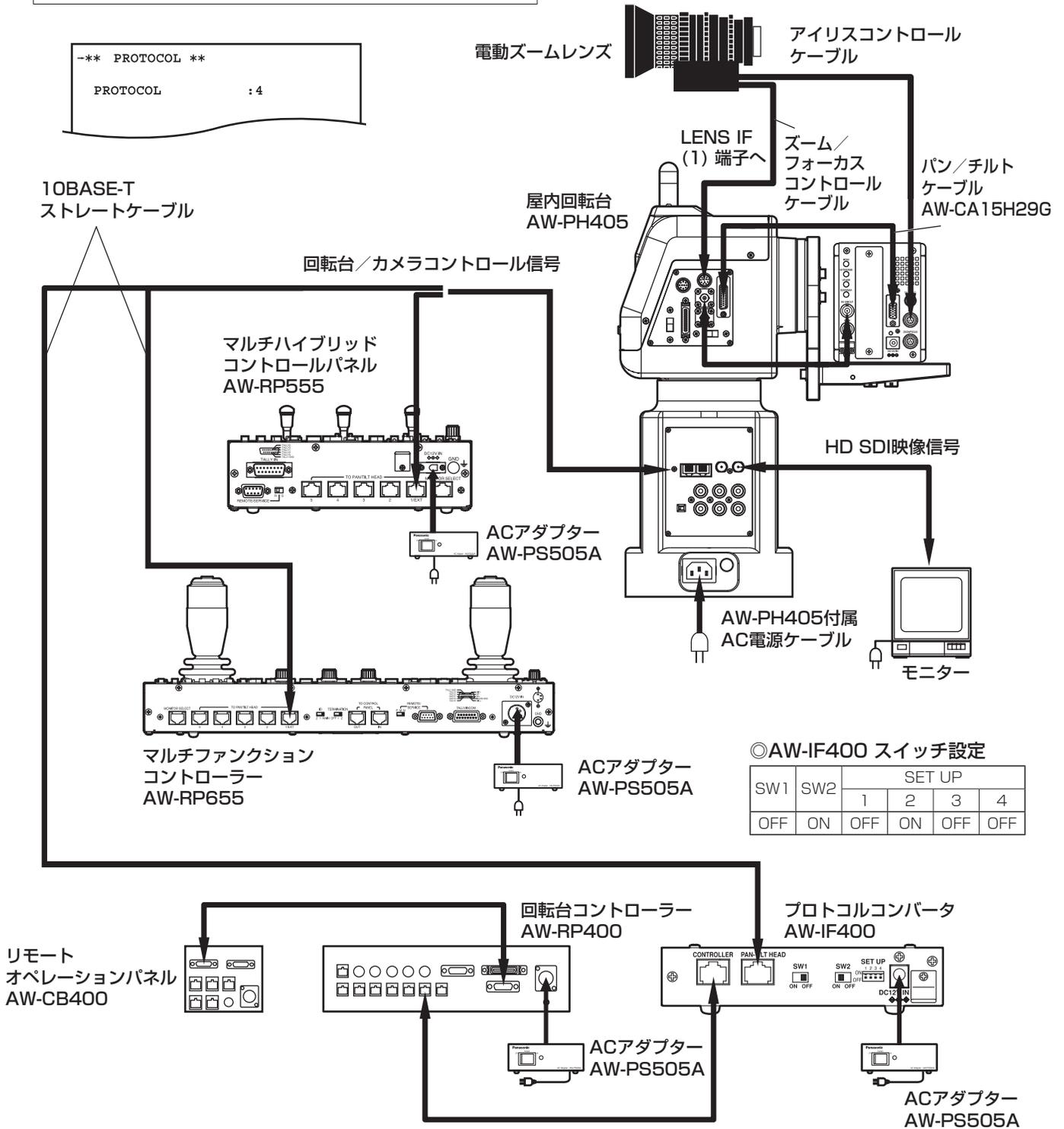
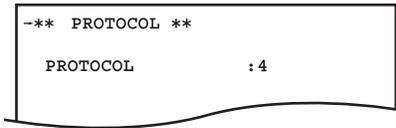
- ③ 接続済みのレンズケーブルとカメラケーブルは、いっしょに束ねないでください。動作中に余分な負荷が加わる場合があります。レンズケーブルとカメラケーブルは、必ず別々に束ねてください。

- 必ず、ドライバー等の工具を使用して、カメラ取付ねじ2本を確実に締めて固定してください。
- カメラを取り付けた後、取り付けガタがないことを確認してください。

接続のしかた

AK-HC1500G/AK-HC1800Gの場合

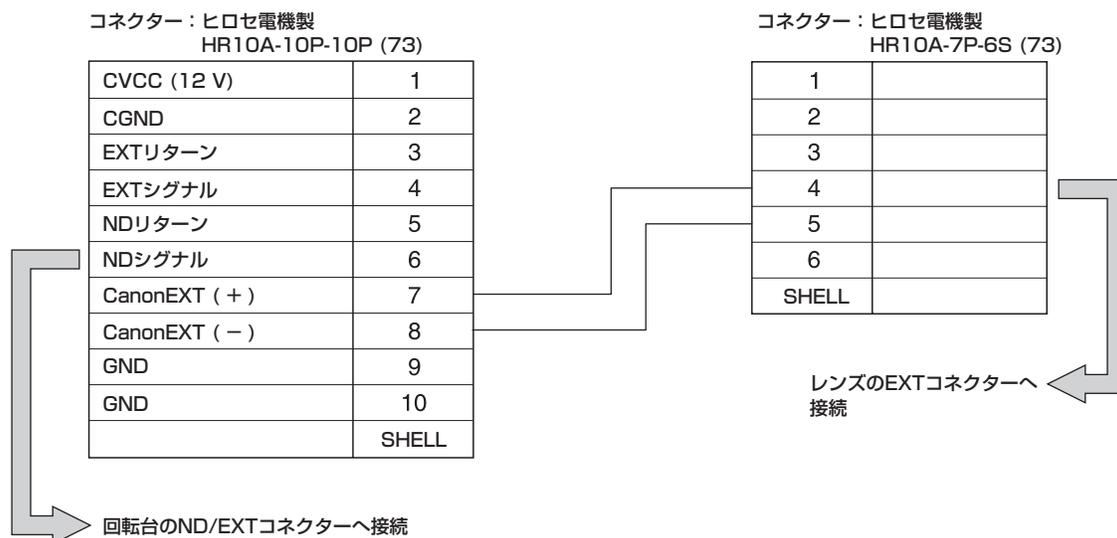
ご注意 ● AK-HC1500G/AK-HC1800G のメニュー項目のPROTOCOLを4に設定してください。



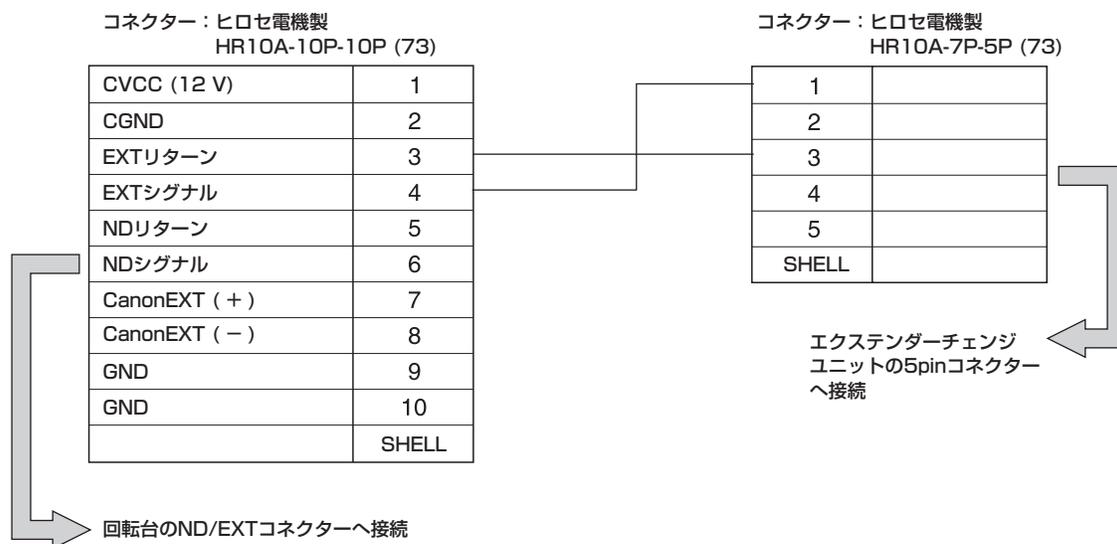
- 回転台とカメラの接続ケーブルは、下記のものをご使用ください。
AW-CA15H29G
- 接続ケーブルの取扱説明書をご参照のうえ、正しく接続してください。

ケーブル仕様

キヤノン（株）製 電動エクステンダーユニット付レンズを接続する場合



フジノン（株）製 エクステンダーチェンジユニットを接続する場合



●エクステンダーチェンジユニットをレンズに接続する方法は、レンズメーカーにお問い合わせください。

消耗品の交換

■モーターの交換

動作に支障がある場合は、交換してください。
交換については、販売店にご相談ください。

■ベルトの交換

プリセット停止精度が劣化した場合は、交換してください。
交換については、販売店にご相談ください。

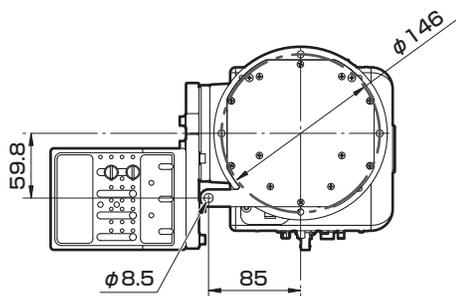
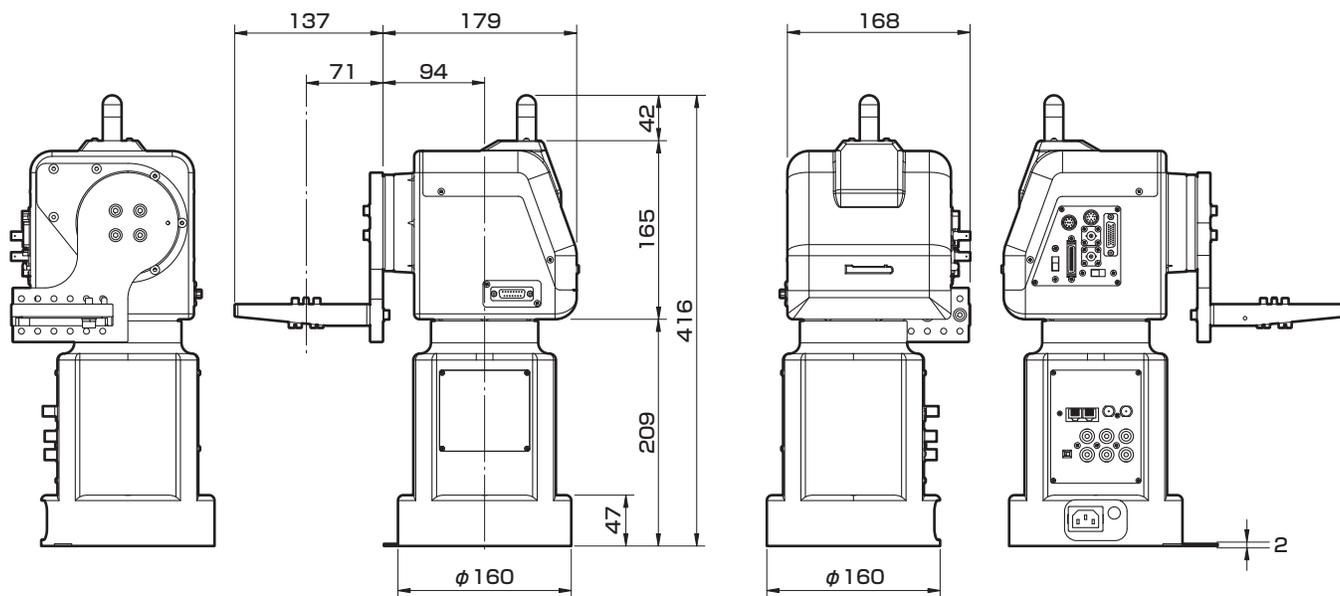
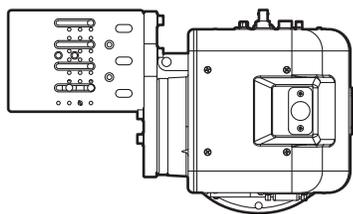
■ギヤの交換

プリセット停止精度が劣化した場合は、交換してください。
交換については、販売店にご相談ください。

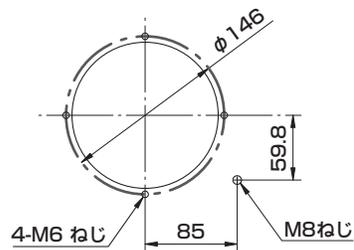
モーターやギヤおよびベルトは、消耗品です。
定期的な交換が必要です。
交換の目安は、回転動作時間の累計で3000時間です。

外形寸法図

単位：mm



<取付穴仕様>



回転台のACインレット側

定格

電源電圧： AC 100 V、50/60 Hz
消費電力： 120 W

 は安全項目です。

ゲンロック入力	: BNC ブラックバーストまたはコンポジットVIDEO、3値SYNC
プロンプター入力 PROMPTER IN	: BNC PROMPTER 端子ヘスルー出力
プロンプター出力 PROMPTER OUT	: D-SUB 15ピン
カメラ映像出力	
VIDEO	: BNC、75 Ω出力
Y	: BNC、75 Ω出力
Pr/C	: BNC、75 Ω出力
Pb	: BNC、75 Ω出力
SDI	: BNC
AUX	: BNC
カメラ／回転台コントロール RP	: RJ45 RS-422 回転台制御信号出力 接続ケーブル：10BASE-Tストレートケーブル（UTPカテゴリー5）、最大 1000 m
機能／性能	: 最大搭載質量：15 kg (max) ● 付属の落下防止用ワイヤーを使用して落下防止を行う場合、カメラとレンズを組み合わせたときの最大搭載質量は5 kg以下です。5 kgを超えて搭載する場合は、搭載質量に十分耐える落下防止対策を必ず施してください。 チルト範囲：300°（約 ±150°） 取り付けるカメラのケーブルやレンズ等により、チルト範囲が制限される場合があります。 パン範囲：300°（約 ±150°） 最大動作速度：45°/s（搭載物の重心を回転中心に合わせた場合） （プロンプター取付時最大動作速度：15°/s） 静止精度：±3′ 騒音レベル：NC35以下（30°/s以下）
動作周囲温度	: -5℃～+45℃
保存温度	: -20℃～+65℃
動作周囲湿度	: 30%～90%（結露なし）
外形寸法（幅 × 高さ × 奥行）	: 319 × 416 × 168 mm（突起部含まず）
質量	: 約 10 kg
仕上げ	: AVアイボリー塗装（マンセル7.9Y6.8/0.8近似色）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お
買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読
みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、この屋内回転台の補修用性能部品を、製造打
ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する
ために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連
絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	屋内回転台
品番	AW-PH405N
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望によ
り修理させていただきます。下記修理料金の仕組み
をご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成さ
れています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・
調整・修理完了時の点検などの作業に
かかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代
です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所
へ技術者を派遣する場合の費用です。

パナソニック株式会社 プロフェッショナルAVビジネスユニット

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2011